



区報

【住み続けたいくなる寺町】

てらまち

令和7年(2025)3月25日

第3号

発行責任者区長 田鹿茂樹

寺町会館 TEL 552-0064

teramachi.4.10@ag.wakwak.com

組長・衛生班長会議開催

組長・衛生班長会議が3月10日に開催されました。議題は3月30日に実施される側溝清掃についてと組長の主な仕事内容についての説明でした。

最初に市環境生活課からゴミの減量と分別について説明があり、終了後の質疑では「主に外国人のアパート居住者のゴミの分別がうまくいっていない。

ゴミ集積所の利用方法や分別に対して市から外国人を雇用している事業所に指導してもらいたい。」との意見が出されました。市でも外国人の転入者に市内生活に関するパンフレットなど配布し指導しているが今後も指導をしていきたいとの回答がありました。

組長の仕事についての議題では、任期は1月1日から12月31日までの1年間として主に以下の仕事内容を説明してもらいました。

●組の把握と区との連絡調整など ●市ならびに区からの配布物の配布など

●区費・組合費・赤い羽根募金などの取りまとめなど

となりますが、区費などお金の徴収と取りまとめについては、大変なご苦勞をおかけしますがご協力をよろしくお願いします。



防災リーダー研修会参加

3月17日に糸魚川消防署が主催した「防災リーダー研修会」に寺町区から2名参加しましたが、各地区の役員など総勢70名近くの参加でした。

「大規模地震と市街地延焼火災のリスク」と題して阪神淡路大震災からの教訓を講師から説明があり、その後消防から提示された課題に対して各班ごとに検討・意見交換をしました。

火災は身近に起こりえるし、糸魚川でも駅北大火を経験していることから皆さん真剣に意見交換をしておりました。

林野火災の発生原因は何かとの課題に対して、タバコのポイ捨て、野焼き、焚き火、バーベキューなどいくつかの原因があがりました。山林での火の不始末は林野火災の原因になりますので確実に消火することが重要とのことでした。

住宅の火災の初期消火には水、消火器が有効ですが、それでも消火が困難な場合、消防隊の到着まで住民の協力を得て40ミリホースの消火栓を活用することが重要とのことでした。

40ミリホースの消火栓は女性や中学生以上なら圧力も少なく扱いやすいとのことですので地区内の40ミリ消火栓のある箇所を探してみましょう。

研修会の終わりに大船渡市の林野火災に新潟県隊の一員として糸魚川消防署隊員が緊急消防援助隊として出動した経過報告がなされ研修会は終了いたしました。

